

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第 4 回玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会																																																
開 催 日 時	平成 2 8 年 2 月 2 5 日 (木) 1 9 時 0 0 分～																																																
開 催 場 所	玉里文化センター コスモス 2 階 集会室																																																
出 席 者	<p><b>【出席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>小松与士宏</td> <td>石塚 匡巳</td> <td>山崎美奈子</td> <td>小山田香代</td> </tr> <tr> <td>中村 仁樹</td> <td>千葉 雅子</td> <td>山田 宏彦</td> <td>箱田 俊男</td> </tr> <tr> <td>大山 徳</td> <td>小林 文雄</td> <td>宮田 聡</td> <td>羽鳥 文雄</td> </tr> <tr> <td>林 憲昭</td> <td>笹目 賢一</td> <td>村山 憲司</td> <td>園部 文夫</td> </tr> <tr> <td>田中 周</td> <td>関 四郎</td> <td>田上 義明</td> <td>亀井 優</td> </tr> <tr> <td>水野 貞雄</td> <td>大槻 良明</td> <td>山口 淳</td> <td>戸田 大我</td> </tr> </table> <p><b>【欠席委員】</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>鬼束 久也</td> <td>瀬畑 誠</td> <td>上田 義宗</td> <td>西村 恵子</td> </tr> <tr> <td>戸田 見良</td> <td>大山 明弘</td> <td>川又 義祐</td> <td>鶴町 文男</td> </tr> <tr> <td>上田 稔</td> <td>戸田 見成</td> <td>大和田智弘</td> <td>木田 強志</td> </tr> <tr> <td>今泉 直美</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長谷川正典</td> <td>鈴木 定男</td> <td>比気 龍司</td> </tr> <tr> <td>小林 利英</td> <td>田山 伸一</td> <td>田村 直弥</td> <td></td> </tr> </table>	小松与士宏	石塚 匡巳	山崎美奈子	小山田香代	中村 仁樹	千葉 雅子	山田 宏彦	箱田 俊男	大山 徳	小林 文雄	宮田 聡	羽鳥 文雄	林 憲昭	笹目 賢一	村山 憲司	園部 文夫	田中 周	関 四郎	田上 義明	亀井 優	水野 貞雄	大槻 良明	山口 淳	戸田 大我	鬼束 久也	瀬畑 誠	上田 義宗	西村 恵子	戸田 見良	大山 明弘	川又 義祐	鶴町 文男	上田 稔	戸田 見成	大和田智弘	木田 強志	今泉 直美				加瀬 博正	長谷川正典	鈴木 定男	比気 龍司	小林 利英	田山 伸一	田村 直弥	
小松与士宏	石塚 匡巳	山崎美奈子	小山田香代																																														
中村 仁樹	千葉 雅子	山田 宏彦	箱田 俊男																																														
大山 徳	小林 文雄	宮田 聡	羽鳥 文雄																																														
林 憲昭	笹目 賢一	村山 憲司	園部 文夫																																														
田中 周	関 四郎	田上 義明	亀井 優																																														
水野 貞雄	大槻 良明	山口 淳	戸田 大我																																														
鬼束 久也	瀬畑 誠	上田 義宗	西村 恵子																																														
戸田 見良	大山 明弘	川又 義祐	鶴町 文男																																														
上田 稔	戸田 見成	大和田智弘	木田 強志																																														
今泉 直美																																																	
加瀬 博正	長谷川正典	鈴木 定男	比気 龍司																																														
小林 利英	田山 伸一	田村 直弥																																															
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校の制度化について</li> <li>・平成 27 年度の取組みについて</li> <li>・平成 28 年度のスケジュールについて</li> </ul>																																																
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 他 )																																																
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 0 人)																																																

### 【委員長あいさつ】

昨年8月22日に第1回建設準備委員会が開かれ、本日は第4回建設準備委員会、今年度最後の委員会となりました。委員の皆様方には、ご出席いただきましたこと、また協議いただきましたこと、本当にありがとうございます。また、事務局の皆様方には、資料等の多くの準備をしていただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、現在教育界では、様々な制度改革が行われております。次の学習指導要領が実施されるのが平成32年度になります。答申では、先取りして実施しても良いということでもありますけれども、その中にアクティブラーニングやチーム学校、社会に開かれた教育課程などという言葉が出てきました。また、この4月1日からは、義務教育学校というものも実施可能となります。学校側としましては、多くの制度改革に対応できるよう、何と言いましても児童生徒に新しい時代を切り開いていく、そういった能力を育んでいかななくてはならないと思います。そのために玉里地区の小中学校4校の教員が集まりまして、小中連携・小小連携を推進する組織を立ち上げ、様々な課題について共通理解を深め、そして課題解決に向けて、取り組み始めたところでございます。このことにつきましては、副委員長から進捗状況について説明があると思います。本日の委員会、よろしくお願ひしたいと思ひます。

### 【協 議】

- (1) 義務教育学校の制度化について
- (2) 平成27年度の取組みについて

委員長 次第をご覧いただきたい。「(1) 義務教育学校の制度化について」とあるが、あいさつで説明したとおりとなり、新教育課程などが出てきていないので、割愛させていただく。

「(2) 平成27年度の取組みについて」ということから始めたいと思う。事務局に説明をお願いしたい。

事務局 資料の3ページをご覧いただきたい。議事(2)平成27年度の取組みとして、建設準備委員会の開催について説明させていただく。

玉里地区の小中学校は、「小美玉市立小中学校規模配置適正化実施計画」に基づき、現在の玉里小学校および玉里中学校の位置に施設一体型の小中一貫校を整備し、平成33年4月開校を目指している。市内初の小中一貫校として整備していくことから、建設準備委員会設置1年目の今年度は、基本構想の作成に向けて、小中一貫校がどういった学校かということを知っていただくこと、現場を見ていただくことを中心に取り組んできた。建設準備委員会の開催状況については、8月22日に第1回準備委員会を開催し、委嘱状の交付・正副委員長の選出、統合概要の説明、建設準備委員会組織の説明、統

合スケジュールの確認を行った。11月6日には第2回建設準備委員会を開催し、既に市内全域で小中一貫教育を実施している水戸市から水戸市総合教育研究所の所長を務めている小野司寿男先生を招き、施設一体型の小中一貫校である水戸市立国田小中学校で行われている小中一貫教育についての講話をいただいたほか、出席委員からの質問に答えていただいた。1月27日には、第3回建設準備委員会として、水戸市立国田小中学校の先進校現地視察を行い、現場の教員である池田教務主任から国田小中学校で行っている小中一貫教育の取組みについて説明をいただいたほか、中学2年生にあたる「8年生」の全生徒から学校の紹介をしていただいた。また、授業参観では、中学校教員による小学生への乗り入れ授業の様子を見学したほか、校内の各諸室の施設見学を行い、出席委員からの質問に現場の教員・水戸市教育委員会の職員に答えていただいた。

続いて、4ページをご覧ください。

地域の情報発信として、建設準備委員会の取組みを中心に開校へ向けた情報を発信し、地域の方々の理解と協力を促進するため、建設準備委員会だよりを発行した。建設準備委員会だよりの配布手段としては、玉里地区の幅広い方々に読んでいただけるよう、玉里地区の保育園・幼稚園・小学校・中学校の全児童生徒を通して保護者へ配布をするほか、区長便による地区回覧板を活用し、保護者ではない方にも読んでいただけるようにしている。現在、準備委員会だよりは第3号まで発行している。また、もう1つの広報手段として、市ホームページを活用した情報発信を行った。建設準備委員会の会議録、会議資料、準備委員会だよりをホームページから閲覧できるようにしており、市内外の方が準備委員会での協議経過を確認できるようにしている。情報の更新は、準備委員会の開催後、準備委員会だより発行後に随時行っている。今後も地域の方に対し、建設準備委員会の取組みなどの情報発信をこのような形で行っていきたいと考えている。以上で今年度の建設準備委員会の取組みについての説明を終わらせていただく。

委員長 続いて、玉里地区小中連携・小小連携について、副委員長に説明をお願いしたい。

副委員長 「玉里地区小中連携・小小連携推進委員会」の設置について、また主に教職員の取組みについて、資料5ページをもとに説明させていただく。その前に、これまで建設準備委員会で、小中一貫校である国田小中学校についての講話を聞いたり、実際に視察を行ったりしたが、国田が玉里地区と大きく異なる点は、国田が小学校1校、中学校1校であるのに対して、玉里地区は小学校3校、中学校1校という点がある。したがって、玉里地区では、小中連携と同時に、統合までの期間にいわゆる小学校3校の教育課程のすり合わせをしたり、共通の指導方針を決めていくといった「小小連携」が大事になってくるかと思う。

3つの小学校には、それぞれ長い歴史と伝統があり、特色ある教育活動、特

に行事等にもそれぞれ違う点が見られる。統合した際に、「3つの小学校が一緒になりました。さて、どうしよう。」となつては、子供達も混乱し、教師の指導も徹底しない。なので、これからの統合までの期間の中で、少しずつ教育課程や教育運営のすり合わせを行い、その方向性や方策を決めていこうという運びとなり、この推進委員会を立ち上げた。

そして、去る2月1日に玉里地区小中学校の教職員全員が玉里中学校に集まり、プロジェクト会議を行った。資料の組織図をご覧いただきたい。この委員会の狙いとしては、子供達の小中学校9年間の中で、連続的な学びを創造できるような「小中連携・小小連携」を推進していくこと。よく「知・徳・体」と言われるが、3つのプロジェクト、豊かな心プロジェクト、確かな学力プロジェクト、健やかな体プロジェクトに、各学校の教職員が同程度の人数に分かれて入ってもらい、話し合いを行った。様々な話が出た。例えば、「豊かな心の育成部会」であれば、「生活のきまり」を統一させていく必要があるのではないかということ。「健やかな体の育成」であれば、体力強化の面や健康・安全面について、各学校の取組の様子を情報交換した。

取組の成果については、小中連携や小小連携、小中一貫教育に関する教職員の意識を高める機会が持てたことが挙げられる。建設準備委員会に参加している校長、教頭、教務主任は、意識が高くても、一般の教員は目の前の子供の指導に精一杯というところがあり、連携をどのようにするか、一貫教育をどのようにするかといったことに対して、なかなか意識が高まらなかったことも現実にある。しかし、推進委員会事務局の玉里中にお骨折りをいただき、事前にアンケートを実施したり、「小中でこれからどのような連携ができるか、小小で今後取り組めそうなことは何か」といったこと等を全て洗い出し、教職員で共通理解を深めた。大変有意義であったと思う。

何分、始めの一步であり、委員長からもあったとおおり、これから学習指導要領も変わる予定となっている。そういったことを踏まえながら、そして教育委員会の指導をいただきながら、今後も定期的にこうした話し合いを持ち、子供達のために「小中連携や小小連携」を図っていきたいと考えている。

委員長 以上のことについて、質問や意見があればお願いしたい。

委員 資料5ページの推進組織図の説明があった。この組織は、先生のみで行うのか。

副委員長 この組織には、知・徳・体のバランスの良い子供を育てるためにそれぞれの部会を設置している。例えば、豊かな心を育てるためにどのようにしたら良いだろうかといったことを協議する部会を設置し、そこに生徒指導主事や道徳主任等が集まり、話し合いを持つ。学校間の共通理解や情報交換を行うといったことが中心だったため、現在の「玉里地区小中連携・小小連携推進委員会」は、まず教職員中心で協議を行うと考えている。

委員長 このことについては、玉里地区の教員が共通理解を持たなければ始まらないと思っている。

委員 それは非常に大事なことだと思っている。この中に、例えばPTAが入るといったような発展的な方向性を持っているのだろうか。

副委員長 市が示した全体の組織図を見ると、教育運営や通学、PTA関係といった部会がある。事務局いかがか。

事務局 資料の6ページをご覧ください。まず、左側の項目に建設準備委員会がある。準備委員会内の検討組織として、総務・通学部会、学校運営部会、PTA部会の3つの部会がある。委員の話は教育課程の検討ということなので、内容としては学校運営部会に入ってくるかと思われる。まず、この教育課程については、「玉里地区小中連携・小小連携推進委員会」において検討いただいた上、建設準備委員会で意見をいただきながら進めていきたいと考えている。現在の「玉里地区小中連携・小小連携推進委員会」は、教職員で立ち上がった組織なので、その内容は建設準備委員会においてPTA役員や区長等の意見をいただきながら検討を進めていくと考えている。

### (3) 平成28年度のスケジュールについて

委員長 議事(3)平成28年度のスケジュールについて、事務局に説明をお願いしたい。

事務局 資料の6ページをご覧ください。平成28年度の建設準備委員会スケジュールについて説明させていただく。

表の上段は、第1回建設準備委員会で配布した開校までのスケジュール表となっており、下段が平成28年度のスケジュール案になっている。平成28年度当初は、PTA役員や区長の役員改選、教職員の異動により、準備委員も替わるかと思う。したがって、新たな準備委員を委嘱するにあたり、5月の定例教育委員会において人事の承認を受ける。6月には、平成28年度の第1回建設準備委員会を開催し、委嘱状交付、年度スケジュールの確認を行う。同じく6月、小中一貫校整備基本構想の業務委託を建設コンサルタントに発注し、基本構想の作成に着手する。この基本構想とは、玉里小学校および玉里中学校全体の学校用地や現在の既存施設の条件を整理し、一体型校舎の位置やグラウンド、駐車場等の学校施設全体の配置等を決めていくものとなっている。7月には、第2回建設準備委員会として、今年度に引き続き、先進校の視察を行う。9月頃には、建設コンサルタント、教育委員会、教職員で基本構想案を作成し、委員へ示したいと考えている。この基本構想案を検討の基礎としながら、第3回建設準備委員会から検討・協議を始め、平成29年2月までには基本構想をとりまとめ、3月の定例教育委員会に協議結果の報告を行うスケジュールとなっている。なお、建設準備委員会の開催月および開催回数については、前後することがあるので、現段階ではスケジュー

ール案とさせていただいている。先進校の視察については、基本構想の検討・協議が始まる前までに実施できるように調整していく。

以上で平成28年度の建設準備委員会スケジュールの説明は終わるが、併せて1点、連絡させていただく。本日配布した準備委員一覧をご覧いただきたい。

現在の建設準備委員は、建設準備委員会設置要綱に基づき、PTA役員や区長の職にある方に委嘱している。年度切り替えに伴う役員改選により、PTA役員や区長の役職ではなくなる方もいるかと思われるが、来年度以降も準備委員会の委員として引き続き協力いただける方については、委員定数40人の範囲内において継続できるように考えているので、よろしく願いしたい。

委員長 平成28年度のスケジュールについて、意見や質問があればお願いしたい。  
委員 来年度に建物の構想をまとめていくと思う。建物のコンセプトや考え方といったものは、どの程度の段階で決めていくのか。それとも案が出来ており、それに我々が多少の意見を出すだけなのか。学校のコンセプトから我々が行うのか。

事務局 建物のコンセプトといった話だが、まず基本構想となるので、現在よりも更に具体的な校舎の建設位置の検討等をこれから本格的に始めていくようになるかと思う。建物ももちろんだが、位置の特定といった建物の基本構想を行い、次に基本設計へ移行していくことになる。小学校と中学校が連携することや一体型等、様々なことがあると思う。基本設計へ移行する上で、検討の基礎になるようなものの作成を意見をいただきながら進めていくというように理解いただければと思う。

委員 私は東小学校区の区長として委員になっており、この役職には複数の人がいる。私は今年度まで役職に就いている予定なので、次の委員が必要だと思う。委員は、私と交代して区長となる人と引き継ぐのか。それとも、該当する複数の人の中から教育委員会が指名するのか。

事務局 新たに委嘱するという事を考えている。役職が代わるということのを伺ったので、後ほど説明することもあるが、基本的に代わられるということであれば、役職が同じ立場の方に委嘱することを考えている。ファイルや資料等の引継ぎについてもあるかと思うが、後ほど説明したい。

事務局 委員の引継ぎについて、どのような人選になるかということだと思う。可能であれば現委員と相談させていただくとともに、後任者と話をさせていただきたいと思う。委嘱については、教育委員会で検討させていただきたい。

#### 【質 疑】

委員長 全体で質疑等があれば、お願いしたい。

委員 玉里地区には、小学校と中学校で4校あると思う。これらの校地は全て市の土地なのか、それとも借地が入っているのか。廃校後のことがあると思う。借地の問題で悩んでいる他市町村もあるという話を聞いている。

事務局 玉里小学校と玉里中学校の敷地には、借地は含まれていない。玉里東小学校と玉里北小学校に関しては、敷地等を管理している資料を持ち合わせていないので、現在答えられるものだけ答えさせていただきたい。

委員 どこの市町村においても学校統合後の廃校利用など、様々な場所に借地が入っているため、土地が使えないということが多くあると思う。廃校後は、地元で上手く利用していきたい。耐震性といった問題等も出てくると思うが、長い歴史がある建物なので、どのようにすれば上手く利用できるかということを考えていかななくてはならないと思う。残ったものをどのように利用していくか、地域がどのように利用できるかということを考えていただきたい。

委員長 他にいかがか。

委員 前回の委員会では、国田小中学校に見学に行った。視察に行ったことをまとめていただいているが、これは誰がまとめたのか。視察に参加した委員全ての意見を聞いてまとめたのか、特定の人意見をまとめたのか。私は、参加した委員全ての感想を聞くということがあっても良いのではないかと思う。委員それぞれで見る目が違うと思う。いかがだろうか。

事務局 事務局がどのように編集したかという質問でよろしいか。議事録を作成する過程も含めてかと思うが、現地視察の際の質疑や説明は事務局で音声として保存させていただいている。それを活字に起こし、その中の表現等の正誤確認を行った後に議事録を作成し、関係する方々に目を通していただいている。

委員 視察に参加した委員それぞれに感じたことがあると思う。そういったことの集約ができているのだろうか。今後、やるべきではないか。

委員長 議事録に書かれていることは当日の質疑であり、視察で感じたことを委員会でまとめてほしいということかと思う。

事務局 前回の委員会、国田小中学校の視察に委員20名の参加をいただいたが、まだ各委員の感想の集約は行っていない。各委員が視察で感じたことは、それぞれ違うと思うので、これから集約して取りまとめを行い、委員会で示していきたいと思う。

委員 平成28年度の予定において、7月に先進校視察とある。国田小中学校に再度行くのか、それとも別の場所を検討しているのか。

事務局 ここでの予定としては、国田小中学校ではなく他の事例として、いくつかの候補を検討している。具体的に視察先が決定している段階ではないが、県内の一貫校といったことを考えている。

委員 つくば市なのだろうか。

事務局 そこも視野に入れている。この学校ということが決定している状況ではないので、決まり次第、連絡したい。

【その他】

事務局 委員にお持ち頂いている資料、ファイルに関して説明させていただく。来年度も委員を担われる方はファイルをそのままお使いいただきたい。また、来年度に委員が代わられる場合は、次の委員へ渡していただく形が理想だと思うが、様々な事情があると思うので、引継ぎが困難な状況も予想されると思う。したがって、来年度、新たに委員となる方には事務局が然るべき資料を用意させていただく。今後の役員選出等の関係でどのようになるか不明な委員もいると思うが、代わる委員もファイルをそのままお持ちいただいても構わない。よろしくをお願いしたい。

19:40 閉会